

# みちこだより

(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)  
自宅〒714-0055笠岡市生江浜965 Tel&Fax66-1738

2006年7月 No. 26  
日本共産党笠岡市議団発行  
〒714-0081 笠岡市笠岡5945-12  
Tel63-6001 Fax63-4164  
携帯090-2862-4775



6月議会のご報告です

「愛国心の押し付け」や「全国学力テスト」の導入などが目的の、教育基本法の改正が言われている。「愛国心の押し付けは戦争への道」と戦争を体験された人は語る。全国学力テストは子どもたちに勝ち組、負け組を持ち込むことになる。

私は「国を愛する態度の押し付けでなく、愛する国であるようにしてほしい。」と願っている。今必要なのは「1人1人の子供が大切にされる少人数学級にすること」「みんなが良く分かるように勉強を教えること」「体罰やえこひいきのないあたたかい学校を作ること」など。

教育基本法の改正に反対し子供たちが平和でのびのびと学校生活を送れることを願い質問。

## 線引きの見直しについて

線引きは人間と自然との調和、乱開発防止を目的にしたもの。笠岡市はそのことを踏まえ、街の活性化・人口減に歯止め・若者の定住を目指し見直し案を発表。市内13箇所で説明会がもたれ、私も5箇所に参加。

それを受け企業誘致エリアの拡大、住居建設エリアの縮小を盛り込み修正案が出された。

「市の掲げた目的達成には見直し案がすべてではない。」との意見も出ている。その真意を修正案と市政全般にどう生かそうとしているのか質問。

先の3月議会で市は「目的に沿っている。農地法などの制約もあり問題はない。」と答える一方で「できるなら農地法の撤廃、線引きを早く解消したい。」と答弁。これは「今は規制をかけるが将来はすべて規制をなくしたい」とも取れるもの。修正案はその流れに沿ったものと危惧されるがどうかと質問。

子育て支援  
一割安とした場合の計算

笠岡市  $0.28 \times 30 \times 4 \times 2 = 67.2 = 70$   
料金  $2,079 \times 7 = 14,553 = 15,000$   
割安  $15,000 - 15,000 \times 0.1 \times 2 = 12,000$   
浅口市(鴨方町)  $1,555 \times 7 = 10,885 = 11,000$

修正案が具体化は、駅前番町の商店に影響を与える。商店街、全市的意見を聞き、調和の取れた案にすべきと質問。

これに対し、市長並びに建設部長より「市民の意見をすべて修正案に反映できない。案は線引きの目的、市の目的に沿ったもの。将来線引きを廃止しても市の条例で規制できる。」と答弁。

笠岡市の将来のために、線引きの見直しと干拓が重要。そのために強い決意をしている。」と答弁。

## 水道料金の値

### 下げについて

8年前平均25%値上げされた笠岡市の水道料金は、県下で高いほうから第2位、県南でも第1位、13市の中でもトップ。最も安い早島町と比較して約4倍の高さ。収益の見込み、赤字解消計画を見直し、料金を値下げする考えはないのかと質問。

子育て真っ最中の家庭から「子共の洗濯で水道料金が馬鹿にならない。何とかしてほしい。」との意見が出ている。全体に値下げができないなら、子育て

1 奈義町	2,400
2 笠岡市	2,079
3 吉備町	2,057
16 鴨方町	1,555
17 矢掛町	1,533
18 高梁市	1,500
27 倉敷市	819
28 早島町	588

(県下の水道料金比較) 高い方から2番目

支援策の一つとして中学校卒業までの子供1人につき1割、2人なら2割と安くしてはどうか。そうすれば、鴨方町、里庄町とほぼ同額になると質問。

市長より「使用水量が増えることは期待できないし設備の改善もあり、値下げは出来ない。他の市と比較は出来ない。」

子育て支援策としての値下げ提案はユニークな提案であり、検討できる課題であるが、私の決断ですぐできる問題ではない。」と答弁。

## 島の振興について

海援隊の活動のもとで、島の産業、修学旅行の受け入れ、14世帯31名入居の空き家対策、島海社の取り組みなどで、島に新たな活力が生まれている。島の産業の振興にむけ、現状の評価と、今後の考えを質問。

また、六島での保育園の開園、真鍋小・中学校での在校生の増加も生まれている。子供たちの声が聞こえる学校はその地域の支えで活力を与える。教育の振興に新たな活力が生まれている現状の評価と今後の考えを質問。

高齢化率は陸地部では25.9%、島嶼部では55.0%。島づくりの主体を今以上に島の人たちに投げかけ、若者を中心にした島づくりの



「よここいソーランで島の勢いを踊る子どもたち」

合意を投げかけることが大切ではないかと質問。

これに対し市長より「島の振興を自らの課題として考える意識変革がなされてきている。島の現状は笠岡市全体の問題を提起していると考えている。評価している。NPO法人を設立し、色々な事業を考えてい。」

また教育長より「真鍋小中への転入は、島の教育の振興と、活性化で喜んでいる。島嶼部を中心として小規模校は笠岡市の特色。充実に向けて取り組む」との答弁。

## 学童保育の充実について

中央小学校の学童保育『アイアイクラブ』の在籍児童数は105名。常に75名程度の児童がクラブにいます。1教室のみ使用です。放課後、外に出る児童がいても、30人から40人が限界。現状は常識を逸した過密さ。

この問題で16年7月環境福祉常任委員会が善処するよう申し入れまでしている。現状をどうとらえ、今後どうするかを質問。

1クラス75名は人権問題。市、教育委員会も人権対策を声高々に言っている。男女共

同参画で働く婦人の権利を守るために条件の改善充実を述べている。学童保育の充実もその一つ。子育て支援が国を挙げて叫ばれている中、口先だけではなく、すぐにでもできることから子育て支援策を行うべき。やる決意があるかないかの問題だ。と質問。

教育長は「重要な子育て支援策。校長会にも資料を提出し、その重要性を訴えた。該当校の校長とも協議し努力をしている。」

学校教育と学童保育の両者の調整が必要」と答弁。

(7月11日の環境福祉常任委員会で、担当課は中央小学校の学童保育所を現在の1教室から2教室へ増やすと報告)



真中は手洗所。右の教室が現在105名の使用している部屋。今後は左の教室も。

島の小中学校に勤務する

非常勤講師の待遇改善について

島の小学校に勤務している非常勤講師の先生は、県採用、市採用合わせて11名。採用の違いで時間給、交通費に大きな違い。

非常勤の先生方の占める割合は、陸地部での6.3%から14.3%に対し、島では14.3%から20.0%。非常勤の先生に頼る割合が大。

同じ島に通う先生の待遇をそろえ、市で負担する考えはないかと質問。

教育長は「学校の教職員定数で不十分なので県に相談。県の職員の非常勤講師を派遣。市は色々な課題に対応するため教育支援員を配置。県と市はおのずと採用が違い、県へは県職員の交通費支給を要望。市の職員は今の形態を継続して事業を続けたい。」と答弁。

補正予算案の中、市長の公用車購入費用問題で質疑を行いました。

市長の公用車購入費用が、補正予算案で400万円と計上。公用車は必要だとしても、費用は市民の税金。財政危機が叫ばれ、市民生活が苦しくなっているこの時期、市民感情を害することになりはしないかと質問。

助役と担当部長は「安全性と耐久年数を考えた結果だ」と答弁。

「議会に出された願いにこたえて」

国民の命と健康よりもアメリカ政府の要請を優先するアメリカ産牛肉輸入に反対する請願の紹介議員になるなど、国民市民の立場に立った請願には賛成しました。

市長公用車400万円盛り込む補正予算案など上程

27日ひったか  
28日おしぐらんご

子どもたちもかきあげました。今年も我家に泊まった留学生ら10人も感動して帰りました

- 6月1日 金小あいさつ運動(更女の会)
- 5日 小北中学校組合議会
- 6日 都市計画審議会
- 8日 土地利用特別委員会  
(線引き見直しで議会発議は態度保留)
- 9日 雪山事故で半年入院の卒業生、全快を祝ってパーベキュー
- 10日 元衆議員中林よし子さんと西の浜、干拓、高島を視察

お世話になりました



(病院4階奥図書室が洗い場に)(路肩も整備済み、安心して通いやすい)

- ★ 市民病院屋上の洗濯機を4階に移設して利用しやすいように改善
- ★ 生江浜国道南側道の整備
- ★ 富岡南地区からニシナ店に向けて国道下を通る旧道に、自動車侵入を防ぎ、歩行者の安全を守るポール設置
- ★ 生江浜護岸高潮対策工事着工(北山下、吉浜護岸工事も7月以降着工予定)
- ★ 生江浜排水溝改善
- ★ 富岡国道下側溝掃除(国交省)



お世話になった皆さんありがとうございました。



11日 母親連絡会「ジャワ島沖地震救援カンパ」(ニシナ店前)

12日 生き生きサロン



被災者には「ごましの心をこめて」



硬式・対津山工専(7月15日) 軟式・対天掛高(7月20日)

「がんばれ山陽」と、大きな声で応援しました。

夫の一言

議会事務局が出している「議会便り」を読んでいつもがっかり。議員の質問要旨よりも執行部答弁が中心。議会便りではなくて、「広報かさおか」の議会版のようで、何ともおかしげ。

一植之津周明(旧姓林)



7/2 第40回岡山県母親大会 in 笠岡  
地元実行委員会の皆さんです。満足感で笑顔いっぱい

- 3・4日 山陽高校昭和48,49年度卒業生同窓会
- 5・6・7日 夫の郷へ墓参り
- 15日 北木島訪問
- 18日 飛島訪問  
金浦地区更生保護女性会総会
- 19日 金浦会総会  
JCI英会話講習会
- 20日 ひったか・おしぐらんご頑張れバザー



- 21日 島の運動会
- 22日 土地利用特別委員会
- 23日 駅前で母親大会チラシ配布
- 25日 離島振興特別委員会
- 26日 社会保障協議会と  
共に市と懇談  
環境常任委員会

あしあと

- 4月2日 さくら祭
- 8日 更正保護女性会総会
- 8日 防火婦人クラブ総会
- 15日 保育所「あゆみ園」六島で開園
- 15日 昭和54年度山陽高校卒業生の同窓会
- 19日 国土交通省職員に富岡国道脇側溝を見てもらい、後日(5月初め)清掃をして頂きました
- 24日 生江浜高潮対策工事説明会
- 27日 笠岡市戦没者追悼式
- 5月1日 メーカーに参加

行事の成功を原賀い、がんばれバザーも大盛況



「国民の命・健康・福祉生活を守れ」と、大きな声で訴えました。